

学校教育目標



自ら学ぶ、豊かな人間性と じょうぶなからだをもった子ども



なかよくできる子 からだをきたえる子 よく考える子 しんぼうづよい子



204日の充実した学校生活

このような場で子ども達を育てます



開かれた学校づくりに努めます

環境教育の推進に努めます

(平成17・18・19年度福島県教育委員会研究実践指定校)

生活指導

時と場に応じて、自分で判断し、行動できる子どもを育てます。

■日常生活指導

「よい子の一日」を守って生活します。

■健康指導

心も体も元気な子を育てます。

■安全指導

- ・防犯に努めます。(集約登校・地域と連携した防犯指導)
- ・安全な歩行・自転車の乗り方・横断のしかたを身につけます。

■食に関する指導

食生活についての正しい理解と、望ましい食習慣を身につけます。

■校内環境

充実した学校生活ができる環境を整えます。



「確かな学力を育む」 教育活動を実践します

授業を実践する上で

- 子ども達の実態をしっかりとらえて行います。
- 単元ごとに「身につけたい力」を設定して行います。

そのために

- 教師の指導力を高める授業研究を推進します。
- 学習の定着を図る時間を確保します。
- 子ども一人一人に応じた指導を充実させます。

特別活動

学校生活をよりよくすることをめざして、よく考え、互いに協力し、助け合いながら、主体的に活動する子どもを育てます。

■児童会活動

・代表委員会 ・委員会活動 ・集会活動

■学級活動

みんなで話し合ったり、自主的な活動を行ったりして、よりよい学級・学校生活を築きます。

■クラブ活動

・年15回

■学校行事の充実

- 連合運動会・鼓笛パレード
- スーパークリーン作戦・地区親善球技大会
- 地区音楽祭・市内体育祭・芸術鑑賞教室
- 宿泊学習・修学旅行 等



学習指導

- ・学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感し、自信を持った子どもを育てます。
- ・学習の仕方(よりよい話し方・聞き方、ノートの書き方等)を身につけます。
- ・既習事項を活用し、確かな学力を身につけます。(朝のチャレンジタイム(国語・算数・読書)の活用)



生徒指導

- ・自分の考えを持ち、自分で判断できる子どもを育てます。
- ・健康な心と体で、物事をねばり強くやりぬく子どもを育てます。
- ・お互いに相手の人間性を尊重し合って、協力する子どもを育てます。
- ・基本的な生活習慣を確立し、豊かな心を持った子どもを育てます。



総合的な学習の時間

自分のめあてを持って進んで学習を進めることができる子どもを育てます。

《学年テーマ》

- 3年…身近な福祉・地域
- 4年…身近な環境(ホタル・カワニナを指標生物として)
- 5年…環境(4年生での学習を土台とした発展的学習)
- 6年…国際理解・卒業に向けて

《共通テーマ》

栽培学習・英語活動(年10時間)・地域探検(年2回)

道徳教育

他を思いやる優しい心と、自分でやろうと決めたことはやり遂げようとする心を持ち、明るく生活する子どもを育てます。

- ・友達や家族、他人に対して、礼儀正しく思いやりをもって接することのできる心を育みます。
- ・命の尊さを知り、命あるものを大切にすることを育みます。
- ・社会のルールや約束事を守る心を育みます。
- ・ともに考え、悩み、感動を共有しながら学ぶことのできる道徳の授業を工夫します。



新たな教育課題への対応

- ・キャリア教育(児童一人一人の勤労観、職業観を育てる教育)
- ・食に関する指導
- ・性教育
- ・情報教育
- ・人権教育 等

家庭や地域社会との連携

家庭や地域社会との協力・連携を図り、教育活動の充実を図るとともに、子どもたちの健康・安全を確保します。

- 学校・学年・保健だより等の充実
- 学校行事・学習活動への参画の推進
- 学校開放週間の実施
- 家庭教育学級の推進
- 保護者及び学校評議員会による学校運営の評価・改善
- 区長会・消防団・老人クラブ等と連携した児童の登下校・家庭生活時の安全確保 等

